

『日本郵便の試験を受ける人専用』

私は、副任の先生に勧められたのをきっかけに、日本郵便を受けることを決めました。元々私は将来なりたいたい職業がなく、日本郵便も自分が最初からなりたかった職業ではなく、興味もなかったため、企業探究なども意欲が生まれませんでした。そのため、面接ノートを作成し始めたときの志望動機も想いを込めて書くことが難しかったです。それでも試験日が少しずつ近づいてきて、少しずつ気合いを入れて取り組むようになりました。このように過ごしてきた私のやる気が出たきっかけは、試験日の1週間前。近くの郵便局の方に話を聞く機会があり、その際に一番やる気ができました。このことから言えることは、インターンシップや応募前職場見学など企業体験に絶対に行った方がいいということです。郵便局は企業体験が実施されていなかったのですが、職場見学などがなくても、普段から利用することのできる場所であれば、必ず行った方がいいと思いました。勉強面は報告書を見て、国語と数学の試験があることを知りました。しかし出題形式が特有だったので、一般常識などの問題集ではあまり勉強できませんでした。もし郵便局を受けようと思っているなら、数学は学習してください。簡単な四則演算(小学生レベルの問題)をどれだけ早く解けるかが大事なので、基礎計算力を身につけてください。国語の長文読解については、問題集の読解問題をひたすら解くことをおすすめします。意外と難しく、時間は足りませんが、それで大丈夫です。面接は会話形式なので、学校の面接練習よりも、いろいろな大人と会話して、会話力を身に付けるといいと思います。でも、面接ノートだけは早めに取りかかった方がいいです。絶対に。

『就職試験に向けて』

私は就職試験に向けて、履歴書の作成と学科試験の勉強と面接練習を頑張ってきました。まずは履歴書を書くことから始まったのですが、志望動機を書くにあたって、自分の体験を踏まえた上での理由や、自分の強みを志望した会社でどのように生かせるのかを書かないといけなかったのも、とても苦勞しましたが、夏休みの間に学校に行き、完成させることができました。学科試験はSPIでした。SPIの問題集はもらえるのですが、勉強する時間は、学校が終わって自宅であるか、授業の休み時間にするしかないのも、時間を有効に使って勉強をしてきました。一通り問題集を終わらせることはできたのですが、本番では問題数が多く、忘れていた問題があったり時間が足りなかったりしたので、問題集は繰り返し解いた方がいいです。面接練習では、就職試験の2ヶ月前には面接ノートを作成しておきました。そのおかげで、練習や本番で緊張はしましたが、つまることなく言えたので、面接ノートは早め書いておいた方がいいです。部活動をしていることは就職に有利になりますが、部活動をしていなくても、資格取得が大きな強みになるので、勉強もがんばってください。就職試験前は毎日大変ですが、人生の中で最も大切な時期なので、あきらめずに頑張ってください。

『私が日本の物流を変えてみせる』

私はどんな仕事につきたいのか、全く想像することができずに、考えることから逃げていました。みんなやっぱり将来の夢があって、それに希望をもって現実をみるのも嫌な人もいるかもしれないけど、自分のやりたいことがあっても少しあきらめないといけない部分があったり、納得いかないこともあったりする中で、しっかりと高校にきた求人の中から自分に合った仕事を見つけることが大切だと思います。まず仕事を決める場合は、その企業の過去の採用情報や報告書をよく確認しておいた方がいいです。特に報告書は面接で聞かれたことや筆記試験でどんな内容が出題されたかが書いてあるのでとても参考になります。筆記試験がある場合は、ちゃんと前もって勉強しておいた方がいいです。私は面接の練習ばかりして筆記の勉強をあまりしなかったのが、本番は全く解けませんでした。ですが、落ち着いて自分の最大の力を発揮することが大切だと思いました。面接はほとんどの人があると思いますが、しっかり練習しておいた方がいいと思います。面接は自分の第一印象を決めるので、精一杯の笑顔と礼儀をしっかりとっておく方がいいと思います。どんな質問がきても答えられるようにきちんと練習を重ねておいた方がいいです。自分の進路が決まってからも決まっていなかった人のことを考えて行動します。

私は自分がもともと就きたい仕事ではない仕事に就職をすることが決まったけれども、今はとても満足しています。就職試験でどんどん努力していくにつれて、仕事への意欲もどんどん出てきて、やる気に満ちあふれています。だから、今やりたいことがなくても努力し続けることで、その仕事をしたいと思えるようになります。

『頑張れ、大翔館生!!』

私は1年次から就職志望で、簿記を履修し、就職に向けて取り組んできましたが、真剣に就職について考えたのは3年次になってからでした。部活動は硬式野球部に所属しており、進路のことについて考えることができずにほったらかしていました。そのため、3年次になり、成績や勉強面で苦勞することが多かったです。しかし、私は部活動をしていてよかったと思っています。なぜなら、就職試験で、自分が頑張ったことをもとに自己PRや高校生活について話しやすくなるからです。自分をアピールするのに部活動が一番大切だと感じました。私が受験した会社は、面接・作文・適性検査が選考方法でした。面接練習では、面接の雰囲気慣れるために何度も何度も練習を重ね、場数を踏むことが大事だと思います。作文は担任の先生が指導してくださるので、心配ありません。最後は自分を信じて、今まで頑張ったものを本番で出すだけだと思うので、結果を出せるようにFight!!